

東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会 第2回大気環境WG 議 事 概 要

【開催日時】 平成20年 2月 21日 (木) 13:00～14:00

【議 題】 ・東京国際空港再拡張事業に係る環境監視結果について
・その他

【出席者】 猿田座長、清水委員、時田委員、松澤委員、東京空港整備事務所、東京航空局、
財団法人港湾空間高度化環境研究センター

【開催場所】 東京空港整備事務所 分庁舎 5階A会議室

【資 料】 資料-1 環境監視結果〈大気環境〉の概要について
資料-2 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視調査結果報告〈大気環境〉
資料-3 今後の予定について

1. 開会挨拶

2. 座長挨拶

3. 議 事

3-1 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視結果について

資料-1～2、参考資料、ビデオ上映にて、工事の進捗状況、大気環境の監視結果報告について説明を行った。

委 員 : 工事に対して個別の苦情は来ているのか。

事務局 : 現在のところD滑走路工事に対する苦情は寄せられていない。D滑走路工事区域以外では、千葉県において、埋立あるいは地盤改良用の山砂を土源から搬出港へ運搬している。D滑走路建設工事共同企業体及び山砂納入安全協議会が木更津市に設置している羽田空港山砂相談窓口にて地元から意見が寄せられており、意見に対して対応を行っているところである。

委 員 : D滑走路工事区域よりも千葉県において、ダンプカーの騒音や粉じんが問題視されているようだが、D滑走路工事に関連した作業でもあることから、事業者として対応を検討する必要があると考える。

委 員 : 資料-2において、冬季調査結果が示されていないが、次回のWG等で報告されるという理解で良いか。

東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会 第2回大気環境WG 議事概要

事務局 : 冬季調査結果については解析・整理中のため、次回のWG等において報告させていただきたいと考えている。

委員 : 本日の資料に記載されている調査結果は、既に公開されているのか。

事務局 : 公表は行っておりません。本WGの確認を以て公表致します。

委員 : 道路沿道大気質のSPMにおいては、一般的に午前中や昼前後は濃度が高くなる。

したがって、濃度が低くなるのは明け方であると考えられるため、調査結果の比較を行う上で、濃度が最小値となる観測時刻について確認しておく必要がある。大気質調査は毎年実施していることから、以前の調査結果についても確認しておくべきと考える。

事務局 : 以前の調査結果を確認し、整理を行う。

3-2 その他

資料-3にて、今後の予定についての説明を行った。

以上(終了)